

# 小児がん拠点病院 現況報告書

令和元年9月1日時点について記載

チェック欄  
に未入力なし

病院名	九州大学病院														
よみがな	きゅうしゅうだいがくびょういん												<input checked="" type="checkbox"/>		
郵便番号	〒	812-8582											<input checked="" type="checkbox"/>		
住所	福岡県	福岡市東区馬出3-1-1											<input checked="" type="checkbox"/>		
よみがな	ふくおかしひがしくまいだし												<input checked="" type="checkbox"/>		
電話(代表)	092-641-1151												<input checked="" type="checkbox"/>		
FAX(代表)															
e-mail(代表)															
HPアドレス	<a href="http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/">http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/</a>														
診療科	開設診療科数	28												<input checked="" type="checkbox"/>	
診療科名(具体的に記載)	内科、精神科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、心療内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、心臓血管外科、小児外科、病理診断科、救急科、小児歯科、矯正歯科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科												<input checked="" type="checkbox"/>		
外来診療受付時間	曜日	初診 月曜日～金曜日		時間	8	時	30	分	～	11	時	00	分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	曜日	再診(自動再来受付機) 月曜日～金曜日		時間	8	時	15	分	～	17	時	00	分		
	曜日			時間		時		分	～		時		分		
	曜日	月曜日～金曜日		時間	9	時	00	分	～	17	時	00	分		
	曜日			時間		時		分	～		時		分		
	曜日			時間		時		分	～		時		分		
休診日	毎週 土曜日、日曜日、その他( 祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日) )												<input checked="" type="checkbox"/>		
初診時の予約	一部の診療科で必要						(すべての診療科で必要／一部の診療科で必要／不要)						<input checked="" type="checkbox"/>		
初診時の紹介状の要否	一部の診療科で必要						(すべての診療科で必要／一部の診療科で必要／不要)						<input checked="" type="checkbox"/>		
病床数	総病床数	1,275	床												<input checked="" type="checkbox"/>
診療実績 (平成30年1月1日～12月31日)	年間新入院患者数 ※1												<input checked="" type="checkbox"/>		
		2,362	人												

年間新入院小児がん患者数 ※1	145	人	✓
年間新入院患者数に占める小児がん患者の割合	6.1	%	
小児がん入院患者数 ※2	487	人	✓
小児がん入院患者在院延べ日数 ※2	10,011	日	✓
小児がん入院患者における再発患者数 ※3	142	人	✓
外来小児がん患者数 ※4	4,553	人	✓
緩和ケアチームが新規で診療を実施した小児がん患者数 ※5	85	人	✓
セカンドオピニオンの対応を行った小児がん患者数 ※5	6	人	✓
他施設から紹介され受け入れた小児がん患者数 ※5	74	人	✓
小児がん患者の紹介を受けた医療機関数	45	機関	✓
小児がん患者の他施設への紹介患者数 ※6	8	人	✓
小児がん患者を紹介した医療機関数	5	機関	✓

※1 18歳以下を対象とする。年間新入院患者数は総数を計上する。

※2 入院患者数は延べ数で計上する。なお、同一患者が当月中に2回入院した場合には2件とし、入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。

※3 18歳以下を対象とする。初回治療後に再発もしくは病態が増悪した入院患者数を延べ数で計上する。初回治療入院中に再発もしくは病態が増悪した場合も計上する。

※4 診断時18歳以下の診断例とする。当年の診療録の作成または記載の追加を行った、新来もしくは再来小児がん患者の延べ数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成または記載の追加を行った場合、それぞれの外来患者として計上する。

※5 診断時18歳以下の診断例とし、総数を計上する。

※6 診断時に18歳以下であった患者の総数を計上するが、紹介時には18歳を超えていても構わない。

がんに関する専門外来の名称

ストーマ看護外来、リンパ浮腫外来、禁煙外来、がん看護外来、造血細胞移植後患者フォローアップ外来、肺がん、縦隔腫瘍、中皮腫外来

#### 届出された先進医療の状況

先進医療への対応状況(小児がんに関するもの)

[別紙1](#)

職員数

総数(事務職員を含む)

2,494	人
人数	うち常勤(※)
718	446
218	141
85	85
0	0

医師

歯科医師

薬剤師

保健師

※常勤とは当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない。

✓
✓
✓
✓
✓

1,210	1,195
0	0
23	23
10	7
10	10
8	8
0	0
67	67
104	99
2	2
23	23
11	11
0	0
12	12
2	2
0	0
2	2

人数 うち常勤(※)

2	2
1	1
2	2
2	2
8	8
3	3
23	23
0	0
7	7
7	7
12	12
77	77
7	7
5	5
0	0
1	1
1	1
0	0

※常勤とは当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべてを勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない。

日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師

日本看護協会 緩和ケア認定看護師

日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師

日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師

日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師

日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師

日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師

日本医療薬学会 がん専門薬剤師

日本臨床細胞学会 細胞検査士

日本医学放射線学会 医学物理士

日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師

日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士

一般社団法人 日本病態栄養学会/

公益社団法人 日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士

一般社団法人日本人類遺伝学会

及び日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー

一般社団法人日本家族性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセラー

チャイルドライフスペシャリスト

ホスピタルプレイスペシャリスト

2	2
2	2
2	2
1	1
1	1
4	4
3	3
6	6
2	2
5	5
2	2
6	5
1	1
1	0
0	0
1	1
0	0

「A」項目の充足状況… 76 / 76

100.0%

## 1 診療体制

## (1) 診療機能

## ① 集学的治療の提供体制および標準的治療等の提供

小児がんについて、手術療法、放射線療法および薬物療法を効果的に組み合わせた集学的治療および緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療(以下「標準的治療」という。)等小児がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。

専門とするがんについて別紙2に記載すること。

小児がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、キャンサーボード(手術療法、放射線療法および薬物療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師その他の専門を異にする医療従事者等によるがん患者の症状、状態および治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。以下同じ。)を設置し、定期的に開催している。また、必要に応じて、歯科医師や薬剤師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士(特に医療ソーシャルワーカー)、公認心理師等の専門的多職種の参加を求めており、キャンサーボードで検討した内容については、記録し、関係者間で共有している。

キャンサーボードの開催回数(平成30年1月1日～12月31日)

小児がん連携病院と協力し、小児がん患者に対して、移行期医療や成人後の晚期合併症対応等も含めた長期フォローアップ体制を構築している。

長期フォローアップ外来(小児がん経験者の健康管理、晚期合併症の予防、疾病の早期発見・早期治療のための外来)を開設している。

長期にわたり診療するための具体的な診療体制について別紙3に記載すること。

AYA世代にあるがん患者について、がん診療連携拠点病院等への紹介も含めた適切な医療を提供できる体制を構築している。

AYA世代への診療提供体制(自施設・他施設の成人診療科との連携状況)について別紙4に記載すること。

才 急変時等の緊急時に小児がん患者が入院できる体制を確保している。

カ 治療に伴う生殖機能への影響など、がん治療開始前に適切な情報提供を行うとともに、患者等の希望も踏まえ、生殖機能の温存の支援を行っている。

キ 生殖機能の温存の支援を行った患者数やその体制について別紙5に記載すること。

保険適応外の免疫療法等の先進的な治療を実施する場合は、科学的知見を集積する観点から、原則として治験、先進医療を含めた臨床研究の枠組みで行っている。

## ② 薬物療法の提供体制

薬物療法のレジメン(治療内容をいう。)を審査し、組織的に管理する委員会を設置している。なお、当該委員会は、必要に応じて、キャンサーボードと連携協力すること。

薬物療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会の組織・体制について別紙6に記載すること。

## ③ 緩和ケアの提供体制

小児がん拠点病院の指定要件で規定する小児の緩和ケアチーム(以下「緩和ケアチーム」という)を整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、小児がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。

緩和ケアチームの組織・体制について別紙7に記載すること。

A : 必須  
B : 望ましい  
- : 参考

はい: 記載内容を満たしている  
いいえ: 記載内容を満たしていない

チェック欄に未入力なし

Aの充足状況

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
-------------------------------------	-----------------------

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
-------------------------------------	-----------------------

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
-------------------------------------	-----------------------

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
-------------------------------------	-----------------------

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
-------------------------------------	-----------------------

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
-------------------------------------	-----------------------

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
-------------------------------------	-----------------------

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
-------------------------------------	-----------------------

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
-------------------------------------	-----------------------

緩和ケアチームへの患者紹介の手順について別紙8に記載すること。		別紙8	27
イ 外来において専門的な小児の緩和ケアを提供できる体制を整備している。	B	はい (はい／いいえ)	28 ✓
緩和ケア外来について別紙9に記載すること。		別紙9	29
ウ 緩和ケアチーム並びに必要に応じて主治医および看護師等が参加する症状緩和に関するカンファレンスを定期的に開催している。	A	はい (はい／いいえ)	30 ✓ ○
緩和ケアチームによるカンファレンスを開催した回数(平成30年1月1日～12月31日)	-	6 回	31
エ 院内の見やすい場所に緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、小児がん患者およびその家族等に対し必要な情報提供を行っている。	A	はい (はい／いいえ)	32
情報提供の手段について簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載)	-	等配布及び小児がん拠点病院	33
オ 小児がん連携病院やかかりつけ医等の協力・連携を得て、主治医および看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明および指導を行っている。	A	はい (はい／いいえ)	34 ✓ ○
カ 小児の緩和ケアに関する要請および相談に関する受付窓口を設けるなど、小児がん連携病院や地域の医療機関および在宅療養支援診療所等との連携協力体制を整備している。	B	はい (はい／いいえ)	35 ✓
緩和ケア病棟について別紙10に記載すること。		別紙10	36
<b>④ 病病連携・病診連携の協力体制</b>			
ア 小児がん連携病院や地域の医療機関から紹介された小児がん患者の受入れを行っている。また、小児がん患者の状態に応じ、小児がん連携病院や地域の医療機関等へ小児がん患者の紹介を行っている。	A	はい (はい／いいえ)	38 ✓ ○
地域の医療機関との連携協力体制について別紙11に記載すること。		別紙11	39
イ 小児がんの病理診断または画像診断に関する依頼や手術療法、放射線療法または薬物療法に関する相談など、小児がん連携病院や地域の医療機関等の医師と相互に診断および治療に関する連携協力体制を整備している。	A	はい (はい／いいえ)	40 ✓ ○
ウ 患者の状況等に応じて、地域連携クリティカルパス(拠点病院と小児がん連携病院や地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表および患者用診療計画表から構成される小児がん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。以下同じ。)を整備している。	B	いいえ (はい／いいえ)	41 ✓
エ ウに規定する地域連携クリティカルパスを活用するなど、小児がん連携病院や地域の医療機関等と協力し、必要に応じて、退院時に当該小児がん患者に関する共同の診療計画の作成等を行っている。	B	いいえ (はい／いいえ)	42 ✓
<b>⑤ セカンドオピニオンの提示体制</b>			
小児がんについて、手術療法、放射線療法または薬物療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師によるセカンドオピニオン(診断および治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。以下同じ。)を提示する体制を有している。また、小児がん連携病院がセカンドオピニオンを提示する体制を構築できるよう適切な指導を行っている。	A	はい (はい／いいえ)	44 ✓ ○
セカンドオピニオンの提示体制、問い合わせ窓口について別紙12に記載すること。		別紙12	45
<b>⑥ その他</b>			
小児がん患者の親へのケアを実施している。	-	はい (はい／いいえ)	47 ✓
<b>(2) 診療従事者</b>			
用語の定義:			48
専任: 当該診療の実施担当者で、その他の診療を兼任していても差し支えないが、就業時間の少なくとも5割以上、当該診療に従事しているもの。			49
専従: 就業時間の少なくとも8割以上、当該診療に専ら従事しているもの。			50
※専任の人数には、専従も含めて記載すること。			51 ✓ ○
<b>① 専門的な知識および技能を有する医師の配置</b>			
ア 放射線診断に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。	A	18 人 1人以上	51 ✓ ○

	放射線診断に携わる医師のうち常勤の人数	-	18	人	52	<input checked="" type="checkbox"/>
イ 薬物療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。		-	4	人	53	<input checked="" type="checkbox"/>
	薬物療法に携わる医師のうち専任の人数	A	4	人	54	<input checked="" type="checkbox"/>
	薬物療法に携わる医師のうち専任かつ常勤の人数	B	4	人	55	<input type="radio"/>
	薬物療法に携わる医師のうち専従の人数	B	4	人	56	<input checked="" type="checkbox"/>
	薬物療法に携わる医師のうち専従かつ常勤の人数	-	4	人	57	<input checked="" type="checkbox"/>
ウ 緩和ケアチームの、身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。		A	4	人	58	<input checked="" type="checkbox"/>
	緩和ケアチームの、身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数のうち常勤の人数	B	2	人	59	<input type="radio"/>
	緩和ケアチームの、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数。	A	1	人	60	<input checked="" type="checkbox"/>
	緩和ケアチームの、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の人数のうち常勤の人数	B	1	人	61	<input type="radio"/>
緩和ケアチームの身体症状担当医および精神症状担当医の人数。		-	8	人	62	<input checked="" type="checkbox"/>
	うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数	-	3	人	63	<input checked="" type="checkbox"/>
	受講率	-	37.5	%	64	
	うちCLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数	-	2	人	65	<input checked="" type="checkbox"/>
	受講率	-	25.0	%	66	
小児がん診療において、小児がん患者の主治医や担当医となる者の人数。		-	20	人	67	<input checked="" type="checkbox"/>
	うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数	-	14	人	68	<input checked="" type="checkbox"/>
	受講率	-	70.0	%	69	
	うちCLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数	-	2	人	70	<input checked="" type="checkbox"/>
	受講率	-	10.0	%	71	
施設に所属する医師(非常勤務医師も1人としてカウント)のうち、小児がん患者の主治医や担当医となることは想定されないが、主治医等から診察依頼を受けた場合や当直業務などで小児がん患者に対する診療を行うことがある者の人数。		-	34	人	72	<input checked="" type="checkbox"/>
	うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数	-	2	人	73	<input checked="" type="checkbox"/>
	受講率	-	5.9	%	74	
	うちCLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数	-	2	人	75	<input checked="" type="checkbox"/>
	受講率	-	5.9	%	76	
施設に所属する医師(非常勤務医師も1人としてカウント)のうち、病理診断医や放射線診断医など、小児がん患者との日常的な対面は想定されない者の人数。		-	22	人	77	<input checked="" type="checkbox"/>
	うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数	-	2	人	78	<input checked="" type="checkbox"/>
	受講率	-	9.1	%	79	
	うちCLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数	-	0	人	80	<input checked="" type="checkbox"/>
	受講率	-	0.0	%	81	
施設に所属する初期臨床研修2年目から初期臨床研修修了後3年目までのすべての医師の人数。		-	248	人	82	<input checked="" type="checkbox"/>
	うちPEACE(成人の緩和ケア研修会)修了者数	-	157	人	83	<input checked="" type="checkbox"/>
	受講率	-	63.3	%	84	
	うちCLIC(小児の緩和ケア研修会)修了者数	-	5	人	85	<input checked="" type="checkbox"/>
	受講率	-	2.0	%	86	
病院長はPEACE(成人の緩和ケア研修会)を修了している。		-	はい	(はい／いいえ)	87	<input checked="" type="checkbox"/>
病院長はCLIC(小児の緩和ケア研修会)を修了している。		-	いいえ	(はい／いいえ)	88	<input checked="" type="checkbox"/>
工 病理診断に携わる医師の人数。		-	21	人	89	<input checked="" type="checkbox"/>

		病理診断に携わる医師のうち専従の人数	A	21	人 1人以上	90	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
		病理診断に携わる医師のうち専従かつ常勤の人数	B	21	人	91	<input checked="" type="checkbox"/>	
<b>② 専門的な知識および技能を有するコメディカルスタッフの配置</b>						92		
ア 放射線療法に携わる診療放射線技師の人数。		放射線療法に携わる診療放射線技師のうち常勤の人数	A	10	人 1人以上	93	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
		放射線療法における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる技術者等の人数。	-	10	人	94	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
		放射線療法における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる技術者等のうち常勤の人数	A	1	人 1人以上	95	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
イ 薬物療法に携わる専門的な知識および技能を有する薬剤師の人数。		- 9	人	96	<input checked="" type="checkbox"/>			
		薬物療法に携わる専門的な知識および技能を有する薬剤師のうち常勤の人数	A	9	人 1人以上	97	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
ウ 緩和ケアチームの、緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有する看護師の人数。		- 2	人	98	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>		
		緩和ケアチームの、緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有する看護師の常勤の人数	A	2	人 1人以上	99	<input checked="" type="checkbox"/>	
		緩和ケアチームに協力する薬剤師の人数	B	4	人	100	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
		緩和ケアチームに協力する公認心理師の人数	B	0	人	101	<input checked="" type="checkbox"/>	
エ 細胞診断に関する業務に携わる者の人数。		B 9 人	102	<input checked="" type="checkbox"/>				
オ 小児看護やがん看護に関する専門的な知識および技能を有する専門看護師または認定看護師の人数。		B 0 人	103	<input checked="" type="checkbox"/>				
		うち小児がん看護に関する知識や技能を習得している者の人数	B	0 人	104	<input checked="" type="checkbox"/>		
小児科領域に関する専門的知識を有する公認心理師又は臨床心理士、社会福祉士(特に医療ソーシャルワーカー)、医療環境にある子どもや家族に心理社会的支援を提供する専門家であるチャイルド・ライフ・スペシャリスト等のような、療養を支援する担当者の人数。		B 5 人	105	<input checked="" type="checkbox"/>				
		小児科領域に関する専門的知識を有する公認心理士又は臨床心理士の人数	-	2 人	106	<input checked="" type="checkbox"/>		
		小児科領域に関する専門的知識を有する社会福祉士の人数	-	1 人	107	<input checked="" type="checkbox"/>		
		医療環境にある子どもや家族に心理社会的支援を提供する専門家であるチャイルド・ライフ・スペシャリスト等の人数	-	2 人	108	<input checked="" type="checkbox"/>		
					109	<input checked="" type="checkbox"/>		
<b>③ その他</b>						110		
ア 小児がん患者の状態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、各診療科の医師における情報交換・連携を恒常的に推進する観点から、各診療科が参加する話し合いの場等を設置している。		B はい (はい／いいえ)	111	<input checked="" type="checkbox"/>				
イ 拠点病院の長は、当該拠点病院において小児がん診療に携わる専門的な知識および技能を有する医師の専門性および活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。なお、当該評価に当たっては、手術療法・放射線療法・薬物療法の治療件数(放射線療法・薬物療法については、入院・外来ごとに評価することが望ましい。)、紹介されたがん患者数その他診療連携の実績、論文の発表実績、研修会・日常診療等を通じた指導実績、研修会・学会等への参加実績等を参考とすること。		A はい (はい／いいえ)	112	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			
		学会・教育・研修活動のための予算が計上されている。	-	はい (はい／いいえ)	113	<input checked="" type="checkbox"/>		
		論文発表、学会発表等を病院業績集等で報告している。	-	はい (はい／いいえ)	114	<input checked="" type="checkbox"/>		
<b>(3) 医療施設</b>						115		
<b>① 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置</b>						116		
ア 放射線療法に関する機器を設置している。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。		A はい (はい／いいえ)	117	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			
イ 集中治療室を設置している。		A はい (はい／いいえ)	118	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			
		集中治療室を設置している場合、一般向けの特定集中治療室(ICU)の数	-	12 床	119	<input checked="" type="checkbox"/>		
		集中治療室を設置している場合、小児専門の特定集中治療室(PICU)の数	-	0 床	120	<input checked="" type="checkbox"/>		
ウ 小児がん患者およびその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場所およびその機会を設けている。		A はい (はい／いいえ)	121	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			

| | | 小児がん患者およびその家族が語り合うための場の設定状況について別紙13に記載すること。

別紙13

122

	小児がん患者およびその家族が語り合うための一覧を別紙14に記載すること。	<a href="#">別紙14</a>	123
	小児がん患者およびその家族を対象とした小児がんの医療・支援に関する勉強会等を開催した回数(平成30年1月1日～12月31日)	- 1 回	124 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>
<b>② 敷地内禁煙等</b>	敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	A はい (はい／いいえ)	125
	敷地内は全面禁煙である。	- はい (はい／いいえ)	126 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>
<b>(4) 診療実績</b>			
① 小児がんについて年間(平成30年1月1日～12月31日)新規症例数が30例以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。	A はい (はい／いいえ)	127 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
② 固形腫瘍について年間(平成30年1月1日～12月31日)新規症例数が10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。	A はい (はい／いいえ)	128 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
③ 造血器腫瘍について年間(平成30年1月1日～12月31日)新規症例数が10例程度以上である(18歳以下の初回治療例を対象とする)。	A はい (はい／いいえ)	129 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
診療実績等について別紙2および別紙15に記載すること。	<a href="#">別紙2・別紙15</a>	130 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
<b>(5) その他</b>			
① 小児がん医療について、外部機関による技術能力についての施設認定(以下「第三者認定」という。)を受けた医療施設である。 特定非営利活動法人日本小児血液・がん学会が認定する「日本小児血液・がん専門医研修施設」である。 特定非営利活動法人日本小児外科学会が認定する「認定施設」である。	A はい (はい／いいえ)	131 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
② 小児がんに係る骨髓・さい帯血等の移植医療について、第三者認定を受けた医療施設である。 公益財団法人骨髓移植推進財団の移植認定病院である。 日本さい帯血バンクネットワークの移植医療機関の登録施設である。	A はい (はい／いいえ)	132 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
③ 一般社団法人小児血液・がん学会が主催する「小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会」を受講した医師及び看護師等医療関係者を配置または配置を予定している。 上記研修会を受講した医師及び看護師等医療関係者を配置している。 配置している上記研修会を受講した医師の人数 配置している上記研修会を受講した医師以外の医療関係者的人数 (配置していない場合)令和元年度中に講習を受講する予定である。	A はい (はい／いいえ)	133 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
配置している上記研修会を受講した医師の人数	A 2 人	134 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
配置している上記研修会を受講した医師以外の医療関係者的人数	A 3 人	135 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
(配置していない場合)令和元年度中に講習を受講する予定である。	- (はい／いいえ)	136 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
配置している上記研修会を受講した医師以外の医療関係者的人数	- (はい／いいえ)	137 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
(配置していない場合)令和元年度中に講習を受講する予定である。	- (はい／いいえ)	138 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
配置している上記研修会を受講した医師の人数	A 2 人	139 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
配置している上記研修会を受講した医師以外の医療関係者的人数	A 3 人	140 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
(配置していない場合)令和元年度中に講習を受講する予定である。	- (はい／いいえ)	141 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
配置している上記研修会を受講した医師の人数	A 2 人	142 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
配置している上記研修会を受講した医師以外の医療関係者的人数	A 3 人	143 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
(配置していない場合)令和元年度中に講習を受講する予定である。	- (はい／いいえ)	144 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
配置している上記研修会を受講した医師の人数	A 2 人	145 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
配置している上記研修会を受講した医師以外の医療関係者的人数	A 3 人	146 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
(配置していない場合)令和元年度中に講習を受講する予定である。	- (はい／いいえ)	147 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
配置している上記研修会を受講した医師の人数	A 2 人	148 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
配置している上記研修会を受講した医師以外の医療関係者的人数	A 3 人	149 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
(配置していない場合)令和元年度中に講習を受講する予定である。	- (はい／いいえ)	150 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
<b>2 研修の実施体制</b>			
小児がん連携病院や地域の医療機関等の多職種の医療従事者も参加する小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研修会等を毎年定期的に開催している。	A はい (はい／いいえ)	151 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
小児がんに関する研修等の回数および研修プログラムの状況について別紙16に記載すること。	<a href="#">別紙16</a>	152 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	
<b>3 情報の収集提供体制</b>			
<b>(1) 相談支援センター</b>			
小児がん拠点病院の指定要件で規定する相談支援を行う機能を有する部門(以下「相談支援センター」という。なお、相談支援センター以外の名称を用いても差し支えないが、その場合には、がん医療に関する相談支援を行うことが分かる名称を用いることが望ましい。)を設置し、院内の見やすい場所に相談支援センターによる相談支援を受けられる旨の掲示をするなど、相談支援センターについて積極的に広報している。なお、小児がん患者及びAYA世代にあるがん患者に対しては、小児・AYA世代のがんに関する一般的な情報提供、療育・発達への支援等に加えて、ライフステージに応じた長期的な視点から、他の医療機関や行政機関、学校等と連携し、就学・就労・生殖医療等への相談対応や患者活動への支援等の幅広い相談支援が必要となることに十分に留意し、患者のみならず、患者のきょうだいを含めその家族に対する支援も行っている。	A はい (はい／いいえ)	153 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="radio"/>	

広報の手段について簡潔に記載すること(例:医療機関のwebサイトに掲載)	-		151
相談支援センターの体制について別紙17に記載すること。		別紙17	152
相談支援センターの状況について別紙18に記載すること。		別紙18	153
相談支援センターの問い合わせ窓口について別紙19に記載すること。		別紙19	154
「小児がん中央機関による研修について」(平成27年3月31日付け厚生労働省健康局がん対策・健康増進課事務連絡)に定め ① 小児がん中央機関が実施する所定の研修を修了した、小児がん患者及びその家族等の抱える問題に対応できる専任の相談 支援に携わる者を1人以上配置している。 ② 患者やその家族に対し、必要に応じて院内の医療従事者が対応できるように、①に規定する者と医療従事者が協働できる体制 を整備している。 ③ 院内及び地域の医療従事者の協力を得て、院内外の小児がん患者・AYA世代にある患者及びその家族並びに地域の住民及 び医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。 相談支援に関し十分な経験を有する小児がん患者団体等との連携協力体制の構築に積極的に取り組んでいる。 小児がん患者団体等との連携について別紙20に記載すること。	A	はい (はい／いいえ)	155 156 157 158
相談支援センターにおいて、以下の業務を行っている。(相談件数については、別添の留意事項に従って、数えること。なお、1回の 相談で複数の内容について相談された場合は、それぞれの項目に計上して良い。)		別紙20	159
ア 小児がんの病態、標準的治療法等小児がん診療等に関する一般的な情報の提供をしている。 アの相談件数(平成30年1月1日～12月31日)	A	はい (はい／いいえ) 454 件	161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181
イ 領域別的小児がん診療機能、診療実績および医療従事者の専門とする分野・経歴など、小児がん連携病院等および医療従 事者に関する情報の収集、提供をしている。 イの相談件数(平成30年1月1日～12月31日)	A	はい (はい／いいえ) 3 件	
ウ セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介をしている。 ウの相談件数(平成30年1月1日～12月31日)	A	はい (はい／いいえ) 42 件	
エ 小児がん患者の発育及び療養上の相談に対応し支援をしている。 エの相談件数(平成30年1月1日～12月31日) エのうち、アピアランスに関する相談件数(平成30年1月1日～12月31日)	A	はい (はい／いいえ) 280 件 18 件	
オ 小児がん患者の教育上の相談に対応し支援をしている。 オの相談件数(平成30年1月1日～12月31日)	A	はい (はい／いいえ) 213 件	
カ 小児がん連携病院等および医療従事者等における小児がん診療の連携協力体制の事例に関する情報の収集、提供をして いる。 カの相談件数(平成30年1月1日～12月31日)	A	はい (はい／いいえ) 0 件	
キ 医療関係者と患者会等が共同で運営するサポートグループ活動や患者サロンの定期開催等の患者活動に対する支援をして いる。 キの相談件数(平成30年1月1日～12月31日)	A	はい (はい／いいえ) 35 件	
ク AYA世代にあるがん患者に対する治療や就学、就労支援等に関する相談に対応し支援をしている。なお、自施設での対応 が困難な場合は、がん診療連携拠点病院等の相談支援センター等と連携を図り、適切に対応している。 クの相談件数(平成30年1月1日～12月31日)	A	はい (はい／いいえ) 137 件	
ケ 必要に応じて、小児がん連携病院や地域の医療機関等に対して相談支援に関する支援を行っている。 ケの相談件数(平成30年1月1日～12月31日)	A	はい (はい／いいえ) 13 件	
コ その他相談支援に関することを行っている。 コの相談件数(平成30年1月1日～12月31日)	A	はい (はい／いいえ) 183 件	

(2)院内がん登録		
① がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)第44条第1項の規定に基づき定められた、院内がん登録の実施に係る指針(平成27年厚生労働省告示第470号)に即して院内がん登録を実施している。	A	はい (はい／いいえ)
院内がん登録に係る実務に関する責任部署を明確にし、当該病院の管理者又はこれに準ずる者を長とし、医師、看護師及び診療情報管理士等から構成され、当該病院における院内がん登録の運用上の課題の評価及び活用に係る規定の策定等を行う機関を設置している。	A	はい (はい／いいえ)
③ 院内がん登録の実務を担う者として、国立がん研究センターが提供する研修で中級認定者の認定を受けている者の人数	A	1 人 <b>1人以上</b>
うち専従者の人数	-	1 人
配置された者は国立がん研究センターが示すがん登録に係るマニュアルに習熟している。	A	はい (はい／いいえ)
④ 院内がん登録の登録様式については、国立がん研究センターが提示する院内がん登録に係る標準様式に準拠している。	A	はい (はい／いいえ)
⑤ 適宜、登録対象者の生存の状況を確認している。	-	はい (はい／いいえ)
⑥ 院内がん情報等を全国規模で収集し、当該情報を基にしたがん統計等の算出等を行うため、毎年、国立がん研究センターに情報提供している。	-	はい (はい／いいえ)
⑦ 院内がん情報を取り扱うに当たっては、情報セキュリティーに関する基本的な方針を定めている。	B	はい (はい／いいえ)
⑧ 院内がん登録を活用することにより、都道府県の実施するがん対策等に必要な情報を提供している。	A	はい (はい／いいえ)
(3)診療実績、診療機能等の情報提供		
小児がん及びAYA世代で発症するがんについて、自施設及び自らが指定した小児がん連携病院の診療実績、診療機能及び医療従事者の専門とする分野・経歴などを、わかりやすく情報提供している。	A	はい (はい／いいえ)
情報提供の手段について簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載)	-	ん拠点病院ホームページへ
(4)その他		
地域住民に対する病院、相談支援センター、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを <b>別紙21</b> に記載すること。	<b>別紙21</b>	
4 臨床研究のこと		
他の拠点病院や小児がん連携病院とも連携し、オールジャパン体制で臨床研究を推進している。	A	はい (はい／いいえ)
(1) 治験を除く臨床研究を行うに当たっては、臨床研究法(平成29年法律第16号)に則った体制を整備している。	A	はい (はい／いいえ)
(2)-1 進行中の臨床試験(治験を除く。以下同じ。)の概要および過去の臨床試験の成果を広報している。	A	はい (はい／いいえ)
広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載)	-	の医学部等ホームページへ
(2)-2 進行中の臨床試験以外の小児がんに関連する臨床研究(特にトランスレーショナルリサーチ)の概要および過去の臨床研究の成果を広報している。	A	はい (はい／いいえ)
広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載)	-	の医系部等ホームページへ
(3) 参加中の治験について、その対象であるがんの種類および薬剤名等を広報している。	B	はい (はい／いいえ)
広報の手段について、簡潔に記載すること(例: 医療機関のwebサイトに掲載)	-	病院内のホームページへ掲載
(4) 臨床研究を支援する専門の部署を設置している。	B	はい (はい／いいえ)
設置していない場合は設置の予定期	-	年月 (西暦XXXX年XX月)
臨床研究を支援する専門の各部門のメンバーについて <b>別紙22</b> に記載すること。	<b>別紙22</b>	
(5) 臨床研究コーディネーター(CRC)を配置している。	B	はい (はい／いいえ)

臨床研究コーディネーターを配置している場合、その人数	-	27	人	211	<input checked="" type="checkbox"/>
臨床研究の問い合わせ窓口について別紙23に記載すること。		別紙23		212	
臨床研究の実施総件数(平成30年1月1日～12月31日)	-	15	件	213	<input checked="" type="checkbox"/>
臨床試験以外の臨床研究実施総件数(平成30年1月1日～12月31日)	-	0	件	214	<input checked="" type="checkbox"/>
治験の実施総件数(平成30年1月1日～12月31日)	-	6	件	215	<input checked="" type="checkbox"/>

## 5 患者の発育および教育等に関する必要な環境整備

(1) 保育士を配置している。	A	はい	(はい／いいえ)	217	<input checked="" type="checkbox"/>
		保育士の人数	-	218	<input type="radio"/>
			2	人	
		保育士のうち常勤の人数	-	219	<input checked="" type="checkbox"/>
			2	人	
(2) 病弱等の特別支援学校または小中学校の病弱・身体虚弱等の特別支援学級による教育支援(特別支援学校による訪問教育を含む。)が行われている。	A	はい	(はい／いいえ)	220	<input checked="" type="checkbox"/>
		特別支援学校(養護学校)の分校・分教室がある。	-	221	<input checked="" type="checkbox"/>
		特別支援学校(養護学校)による訪問教育を行っている。	-	222	<input checked="" type="checkbox"/>
		病院内に特別支援学級が設置されている。	-	223	<input checked="" type="checkbox"/>
		高等学校段階においても必要な教育支援を行っている。	-	224	<input checked="" type="checkbox"/>
(3) 退院時の復園および復学支援が行われている。	A	はい	(はい／いいえ)	225	<input type="radio"/>
		教育支援、復園・復学支援の状況について別紙24に記載すること。		226	
(4) 子どもの発達段階に応じた遊戯室等を設置している。	A	はい	(はい／いいえ)	227	<input checked="" type="checkbox"/>
		AYA世代(思春期および若年成人)のための場所を確保している。	-	228	<input checked="" type="checkbox"/>
(5) 家族等が利用できる長期滞在施設またはこれに準じる施設が整備されている。	A	はい	(はい／いいえ)	229	<input type="radio"/>
		部屋数	-	230	
			7	部屋	
		長期滞在施設が自施設内に設置されている。	-	231	<input checked="" type="checkbox"/>
		長期滞在施設またはこれに準じる施設について別紙25に記載すること。		232	
(6) 家族等の希望により、24時間面会または患者の付き添いができる体制を構築している。	A	はい	(はい／いいえ)	233	<input checked="" type="checkbox"/>
(7) 患者のきょうだいに対する保育の体制整備を行っている。	B	いいえ	(はい／いいえ)	234	<input checked="" type="checkbox"/>

## 6 PDCAサイクル

(1) 自施設及び小児がん連携病院の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・評価し、課題認識を関係者で共有した上で、適切な改善策を講じている。	A	はい	(はい／いいえ)	236	<input checked="" type="checkbox"/>
		把握・評価の方法、改善策等について別紙26に記載すること。		237	
(2) これらの実施状況につき、地域ブロック協議会において、情報共有と相互評価を行うとともに、地域に対してわかりやすく広報を行っている。	A	はい	(はい／いいえ)	238	<input checked="" type="checkbox"/>
		地域への広報の手段について簡潔に記載すること(例:医療機関のwebサイトに掲載)	-	239	
		がん拠点病院ホームページに		240	

## 7 医療安全体制

(1) 組織上明確に位置づけられた医療に係る安全管理を行う部門(以下「医療安全管理部門」という。)を設置し、病院一体として医療安全対策を講じている。また、当該部門の長として常勤の医師を配置している。	A	はい	(はい／いいえ)	241	<input checked="" type="checkbox"/>
(2) 医療に係る安全管理を行う者(以下「医療安全管理者」という。)として(1)に規定する医師に加え、専任で常勤の薬剤師及び専従で常勤の看護師を配置している。	A	はい	(はい／いいえ)	242	<input checked="" type="checkbox"/>
(3) 医療安全管理者は、医療安全対策に係る研修を受講している。	A	はい	(はい／いいえ)	243	<input checked="" type="checkbox"/>

(4) 当該施設で未承認新規医薬品の使用や承認薬の適応外使用や高難度新規医療技術を用いた医療の提供を実施している。	-	はい	(はい／いいえ)	244	<input checked="" type="checkbox"/>
				245	
当該施設で未承認新規医薬品の使用や承認薬の適応外使用や高難度新規医療技術を用いた医療の提供を実施する場合は、以下の体制を整備している。※上段で「いいえ」の場合、以下の3つの項目は、「-」を選択してください。	A	はい	(はい／いいえ／-)	246	<input checked="" type="checkbox"/>
① 当該医療の適応の安全性や妥当性、倫理性について検討するための組織(倫理審査委員会、薬事委員会等。なお当該組織は既設の組織であっても構わない。)において、病院として事前に検討を行っている。	A	はい	(はい／いいえ／-)	247	<input checked="" type="checkbox"/>
② 事前検討を行い、承認された医療を提供する際には、患者・家族に対し適切な説明を行い、書面での同意を得た上で提供している。	A	はい	(はい／いいえ／-)	248	<input checked="" type="checkbox"/>
③ 提供した医療について、事後評価を行っている。	A	はい	(はい／いいえ／-)	249	<input checked="" type="checkbox"/>
(5) 医療安全のための患者窓口を設置し、患者からの苦情や相談に応じられる体制を確保している。	A	はい	(はい／いいえ)	250	
医療安全体制について別紙27に記載すること。		別紙27			

## 先進医療への対応状況(小児がんに関するもの)

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在(実施件数は平成31年4月1日～令和元年7月31日)

先進医療窓口情報								
先進医療の実施								
先進医療A	問い合わせ窓口	実施していません (実施しています／実施していません)						
	窓口名							
	技術名							
	電話番号	代表		内線				
		直通						
	対象となる病名・病状							
実施件数(平成31年4月1日～令和元年7月31日)			件					
先進医療B								
先進医療B	問い合わせ窓口		(窓口があります／窓口がありません)					
	窓口名							
	技術名							
	電話番号	代表		内線				
		直通						
	対象となる病名・病状							
実施件数(平成31年4月1日～令和元年7月31日)			件					

## 各種小児がんの情報

記載の有無  
あり

小児がんについての対応状況を記載してください。

※ 各医療機関において「専門とするがん」とは、集学的治療および緩和ケアを提供する体制が整備されているとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等のがん患者の状態に応じた適切な治療を提供する体制が整備されているがんのことをさします。

※ 診療を実施していないがんについて、表の記載は不要です。

※ 内視鏡下手術用ロボットを用いた手術に関しては、その他の治療法の欄に記載すること。

✓チェック欄  
に未入力なし

### 小児脳腫瘍

集学的治療の実施状況  (○:専門とするがん/×:診療を実施していないがん)

病院名: 九州大学病院  
時期・期間: 令和元年9月1日現在(実績は平成30年1月1日~12月31日)

OK

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況 (○:実施可/×:実施不可) 昨年の実績(あり/なし) ※平成30年1月1日~12月31日												各診療科における当該疾患の治療 の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師 数	当該疾 患を専 門として いる医 師数	手術	化 学 療 法	放射線療法			陽子線 治 療	その他の治療法があれば記載 ※下記のその他の治療法欄と 合わせてください				見出し	アドレス	掲載されている内容			
						体外 照 射	定 位 放 射 線 療 法	IMRT		小 線 源 治 療	他の 治 療 (1)	他の 治 療 (2)	他の 治 療 (3)			治 療 内 容	治 療 実 績	医師の 専門 分野	
1 脳神経外科	10	3	状況	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×		九州大学大学院医学 研究院脳神経外科 診療案内	http://www.ns.med.kyushu -u.ac.jp/medical/index.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	なし	あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし			http://www.ns.med.kyushu -u.ac.jp/patient/disease02.h	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2 小児科	6	2	状況	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	九州大学医学部小兒 科	https://pediatr.kyushu -u.ac.jp/	掲載なし	掲載なし	掲載なし
			実績	なし	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	http://www.gan.med.kyushu -u.ac.jp/general/result23/in		掲載あり	掲載あり	掲載あり	
3 放射線科	36	17	状況	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×		放射線治療について 神経画像診断や放射線治療の専門医 が診断、治療にあたります。	http://www.radiol.med.kyus hu-u.ac.jp/medicalcare/radiati	掲載あり	掲載なし	掲載なし
			実績	なし	なし	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし			http://www.radiol.med.kyus hu-u.ac.jp/staff	掲載あり	掲載なし	掲載あり
4			状況													http://			
			実績													http://			
5			状況													http://			
			実績													http://			

その他の治療法 ※上記の実施状況・実績欄と合わせて記載してください	治療名	治療内容
他の治療(1)		
他の治療(2)		
他の治療(3)		

治療実績のある疾患名 ※平成30年1月1日~12月31日	神經膠腫、頭蓋咽頭腫、髓芽腫、胚細胞腫、中枢性胎児性腫瘍、髓膜腫
---------------------------------	----------------------------------

## 小児の眼・眼窩腫瘍

集学的治療の実施状況  (○:専門とするがん/×:診療を実施していないがん)

OK

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) 昨年の実績(あり/なし)※平成30年1月1日～12月31日												各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど			当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ		
主な診療科名 (5診療科まで)	医師 数	当該疾患を専門としている医師数	手術	冷凍凝固術	光凝固術	化学療法	眼動注	放射線療法			陽子線治療	その他の治療法があれば記載 ※下記のその他の治療法欄と合わせてください			見出し	アドレス	掲載されている内容			
								体外照射	IMRT	小線源治療		他の治療(1)	他の治療(2)	他の治療(3)			治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1 眼科	4	4	状況	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	見出し	アドレス	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
				あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	専門外来 - 眼腫瘍・眼形成・涙道疾患	<a href="http://www.eye.med.kyushu-u.ac.jp/patient/specialtycl">http://www.eye.med.kyushu-u.ac.jp/patient/specialtycl</a>	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
2 小児科	6	2	状況	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	見出し	アドレス	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
				なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	眼科など複数科および国立がんセンターと連携した診療ができます	<a href="https://pediatr.kyushu-u.ac.jp/">https://pediatr.kyushu-u.ac.jp/</a>	掲載なし	掲載なし	掲載なし	
3 放射線科	36	17	状況	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	見出し	アドレス	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
				なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	各種画像診断や放射線治療の専門医が診断、治療にあたります。	<a href="http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/medicalcare/radiati">http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/medicalcare/radiati</a>	掲載あり	掲載なし	掲載なし	
4			状況												見出し	アドレス	http://			
															見出し	アドレス	http://			
5			状況												見出し	アドレス	http://			
				実績											見出し	アドレス	http://			
その他の治療法 ※上記の実施状況・実績欄と合わせて記載してください			治療名						治療内容											
他の治療(1)																				
他の治療(2)																				
他の治療(3)																				
治療実績のある疾患名 ※平成30年1月1日～12月31日			網膜芽細胞腫																	

## 小児悪性骨軟部腫瘍

集学的治療の実施状況  (○:専門とするがん/×:診療を実施していないがん)

OK

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数	治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) 昨年の実績(あり/なし)※平成30年1月1日~12月31日													各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ						
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術				化学療法	放射線療法		陽子線治療	重粒子線治療	その他の治療法があれば記載※下記のその他の治療法欄と合わせてください	他の治療(1)	他の治療(2)	他の治療(3)	掲載されている内容				
				切・離断術	患肢温存術	再建術	骨移植術		体外照射	小線源治療							治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1 整形外科	22	4	状況	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
			実績	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		
2 小児科	6	2	状況	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	小児に発生した悪性骨軟部腫瘍は、小児科と密に連絡を取り、チーム医療を通じて、手術・化学療法・放射線治療を組み合わせた集学的治療を行なっています。	骨軟部腫瘍グループ <a href="http://www.ortho.med.kyushu-u.ac.jp/2017/01/20/骨軟部腫瘍グループ/">http://www.ortho.med.kyushu-u.ac.jp/2017/01/20/骨軟部腫瘍グループ/</a>	掲載あり	掲載なし	掲載なし
			実績	なし	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	スタッフ紹介 <a href="http://www.ortho.med.kyushu-u.ac.jp/category/staff01/">http://www.ortho.med.kyushu-u.ac.jp/category/staff01/</a>	掲載なし	掲載なし	掲載あり	
3 放射線科	36	17	状況	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	小児外科、整形外科など複数科と連携した診療ができます	九州大学医学部小児科 <a href="https://pediatr.kyushu-u.ac.jp/">https://pediatr.kyushu-u.ac.jp/</a>	掲載なし	掲載なし	掲載なし	
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	九州大学がんセンター 小児がん <a href="http://www.gan.med.kyushu-u.ac.jp/general/result23/in.html">http://www.gan.med.kyushu-u.ac.jp/general/result23/in.html</a>	掲載あり	掲載あり	掲載あり	
4			状況													各種画像診断や放射線治療の専門医が診断、治療にあたります。	放射線治療について <a href="http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/medicalcare/radiation/">http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/medicalcare/radiation/</a>	掲載あり	掲載なし	掲載なし	
			実績													スタッフ紹介 <a href="http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/staff">http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/staff</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり		
5			状況														<a href="http://">http://</a>	<a href="http://">http://</a>	<a href="http://">http://</a>	<a href="http://">http://</a>	
			実績														<a href="http://">http://</a>	<a href="http://">http://</a>	<a href="http://">http://</a>	<a href="http://">http://</a>	
その他の治療法 ※上記の実施状況・実績欄と合わせて記載してください			治療名				治療内容														
他の治療(1)																					
他の治療(2)																					
他の治療(3)																					
治療実績のある疾患名 ※平成30年1月1日~12月31日			横紋筋肉腫、線維肉腫、骨腫瘍、ユーイング肉腫																		

## その他の小児固形腫瘍

集学的治療の実施状況  (○:専門とするがん/x:診療を実施していないがん)

OK

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/x:実施不可) 昨年の実績(あり/なし)※平成30年1月1日～12月31日										当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
主な診療科名 (5診療科まで)	医師 数	当該疾患を専 門としている医 師数	手術	化学 療法	放射線療法		陽子線 治療	その他の治療法があれば記載 ※下記のその他の治療法欄と 合わせてください			他の 治療(1)	他の 治療(2)	他の 治療(3)	各診療科における当該疾患の治療 の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
					体外 照射	小線源 治療		他の 治療(1)	他の 治療(2)	他の 治療(3)				見出し	アドレス	掲載されている内容	治療 内容	治療 実績
1 小児外科	12	6	状況 ○	x	x	x	x	x	x	x	小児科、他診療科と協力して日本で最 高水準の小児固形悪性腫瘍の集学的 治療を行います。	九州大学病院 がんセ ンター	https://www.gan.med.kyus hu-u.ac.jp/	掲載あり	掲載あり	掲載あり		
			実績 あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし				http://				
2 小児科	6	2	状況 x	○	x	x	x	x	x	x	小児外科、整形外科など複数科と 連携した診療ができます	九州大学医学部小児 科	https://pediatr.kyushu- u.ac.jp/	掲載なし	掲載なし	掲載なし		
			実績 なし	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし				九州大学がんセン ター 小児がん	http://www.gan.med.kyus hu-u.ac.jp/general/result23/in dex.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
3 放射線科	36	33	状況 x	x	○	○	x	x	x	x	各種画像診断や放射線治療の専門医 が診断、治療にあたります。	放射線治療について	http://www.radiol.med.kyus hu-u.ac.jp/medicalcare/radiati	掲載あり	掲載なし	掲載なし		
			実績 なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし				スタッフ紹介	http://www.radiol.med.kyus hu-u.ac.jp/staff	掲載あり	掲載なし	掲載あり
4			状況											http://				
5			実績											http://				
その他の治療法 ※上記の実施状況・実績欄と合わせて記載してください			治療名				治療内容											
他の治療(1)																		
他の治療(2)																		
他の治療(3)																		
治療実績のある疾患名 ※平成30年1月1日～12月31日			神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫、ラブドイド腫瘍															

## 小児血液腫瘍

集学的治療の実施状況



(○:専門とするがん/×:診療を実施していないがん)

OK

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) 昨年の実績(あり/なし)※平成30年1月1日～12月31日										当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師 数	当該疾 患を専 門として いる医 師数	化学 療法	移植		放射線療法		その他の治療法があれば記載 ※下記のその他の治療法欄と 合わせてください			各診療科における当該疾患の治療 の特色・患者さんへのメッセージなど	掲載されている内容				
				自家末 梢血幹 細胞移 植	血縁者 間同種 造血幹 細胞移 植	非血縁者 間同種骨 髓移植ま たは臍帶 血移植	体外 照射	全身 照射	他の 治療(1)	他の 治療(2)		治療 内容	治療 実績	医師の 専門 分野		
1 小児科	6	3	状況	○	○	○	○	×	×	×	×	小児外科、放射線科など複数科と連携した診療ができます  各種画像診断や放射線治療の専門医が診断、治療にあたります。	九州大学医学部小児科 <a href="https://pediatr.kyushu-u.ac.jp/">https://pediatr.kyushu-u.ac.jp/</a>	掲載なし	掲載なし	掲載なし
			実績	あり	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし		九州大学がんセンター 小児がん <a href="http://www.gan.med.kyushu-u.ac.jp/general/result23/in">http://www.gan.med.kyushu-u.ac.jp/general/result23/in</a>	掲載あり	掲載あり	掲載あり
2 放射線科	36	33	状況	×	×	×	×	○	○	×	×	放射線治療について  スタッフ紹介	放射線治療について <a href="http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/medicalcare/radiati">http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/medicalcare/radiati</a>	掲載あり	掲載なし	掲載なし
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		スタッフ紹介 <a href="http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/staff">http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/staff</a>	掲載あり	掲載なし	掲載あり
3			状況													
4			状況													
5			状況													
実績																
その他の治療法 ※上記の実績欄と合わせて記載してください			治療名				治療内容									
他の治療(1)																
他の治療(2)																
他の治療(3)																
治療実績のある疾患名 ※平成30年1月1日～12月31日		急性リンパ性白血病、急性骨髓性白血病、骨髓異形成症候群、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫、ランゲルハンス細胞組織球症														

## 長期にわたり診療するための具体的な診療体制

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

自施設内における長期フォローアップの体制、他施設との連携による長期フォローアップの体制等について具体的に記載すること。必要に応じて図を用いても構いません。1枚におさめること。

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名の頭に別紙3を付けた電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

なし	(あり／なし)
----	---------

OK

ファイル形式

(ワード／一太郎／リッチテキスト／エクセル／パワーポイント／PDF／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

[ ]

### ■長期フォローアップの方法及び晚期合併症への対応

本院の小児医療センターにおける外来患者への長期フォローアップの方法等については、以下の通りである。 試験運用中「小児・AYA世代がんフォローアップ外来」受診の流れ

① 小児科及び小児外科による「小児がん長期フォローアップ」を外来で実施している。  
治療終了後的小児がん患者に対して、問診、内科的診察、身長・体重測定、血液  
(内分泌系含む)・尿検査、血圧・呼吸数・心拍数・酸素飽和度測定、必要に応じて  
CT/MRIなどの画像検査、腹部・心臓超音波検査、呼吸機能検査、視力・聴力検査、  
発達検査等を実施している。

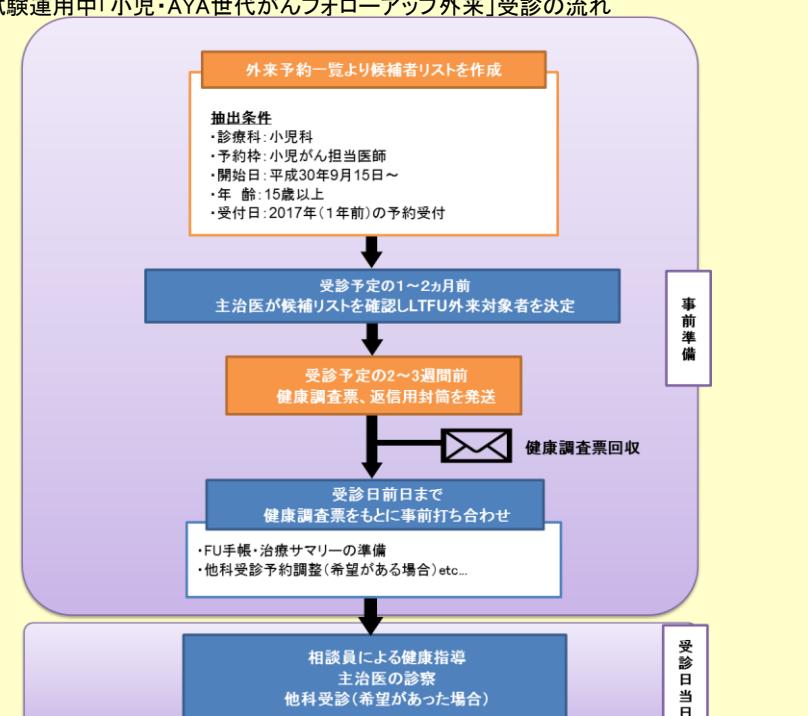
② 問題がなければ、定期的に外来フォローアップを継続するが、低身長、甲状腺  
機能低下、心・腎機能障害などが疑われた場合には小児科及び小児外科(年齢によ  
っては自施設の内科及び外科)の各診療グループと連携し精査・治療を実施する。

③ 遠方の患者に関しては、他施設の小児科及び小児外科(年齢によっては他施設の  
内科及び外科)と連携し、情報提供した上で、他施設において精査・治療を実施する。

④ 視力・聴力障害、高血圧、糖尿病、消化器癌、乳房腫瘍、骨・関節障害、二次性  
無月経、二次性脳腫瘍などに対しては、自施設または他施設の関係科(眼科、耳鼻  
咽喉科、内科、外科、整形外科、産婦人科及び脳神経外科等)と連携し、情報提供  
した上で、精査・治療を実施する。

⑤ 疼痛、精神的・心理的問題などに対しては、自施設または他施設の関係科  
(麻酔科、精神科神経科、心療内科及び小児緩和ケアチーム等)と連携し、情報提供  
した上で、精査・治療を実施する。

尚、今後は二次がんや晚期合併症の内容に合わせてより適切な診療を提供できるよう  
AYA世代のフォローにも力を入れて行くべく「小児・AYA世代がんフォローアップ外来」の  
年度内設置を計画している。





## AYA世代への診療提供体制

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名：九州大学病院

時期・期間：令和元年9月1日現在

AYA世代への診療提供体制(自施設・他施設の成人診療科との連携状況等)について記載すること。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙4を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

なし

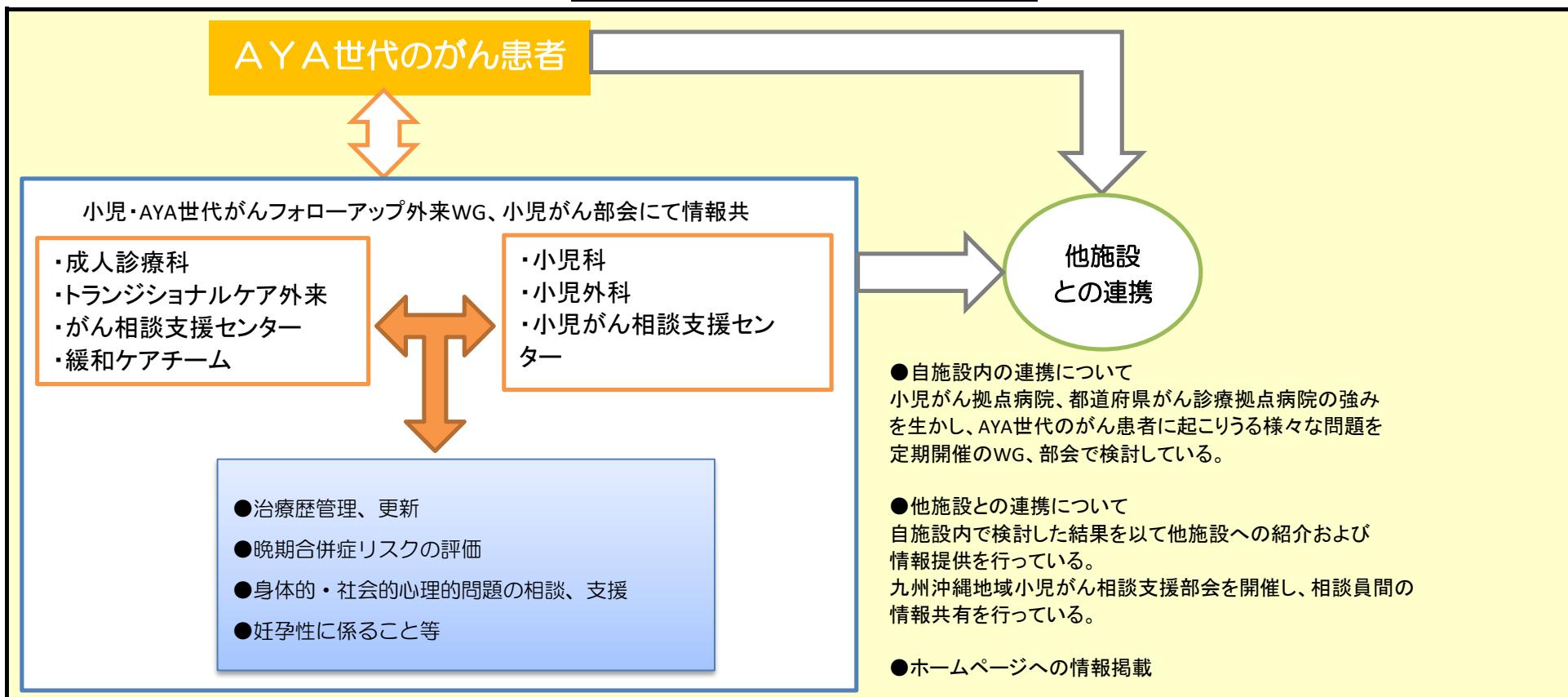
(あり／なし)

OK

ファイル形式

(ワード／一太郎／リッチテキスト／エクセル／パワーポイント／PDF／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。



## 生殖機能の温存の支援を行う体制

記載の有無  あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在(患者数は平成30年1月1日～12月31日)

■生殖機能の温存の支援を行った患者数について記載すること。

がんの治療に際する妊よう性温存目的で精子保存を行った患者の数(平成30年1月1日～12月31日)	1	OK
がんの治療に際する妊よう性温存目的で未受精卵子、受精卵(胚)、あるいは、卵巣組織の凍結保存を行った患者の数(平成30年1月1日～12月31日)	6	
がんの治療に際する妊よう性温存のために、妊よう性温存ができる他の施設へ紹介した患者の数(平成30年1月1日～12月31日)	1	

■生殖機能の温存の支援を行う体制について記載すること。(他施設との連携がある場合は、その連携についても記載すること)

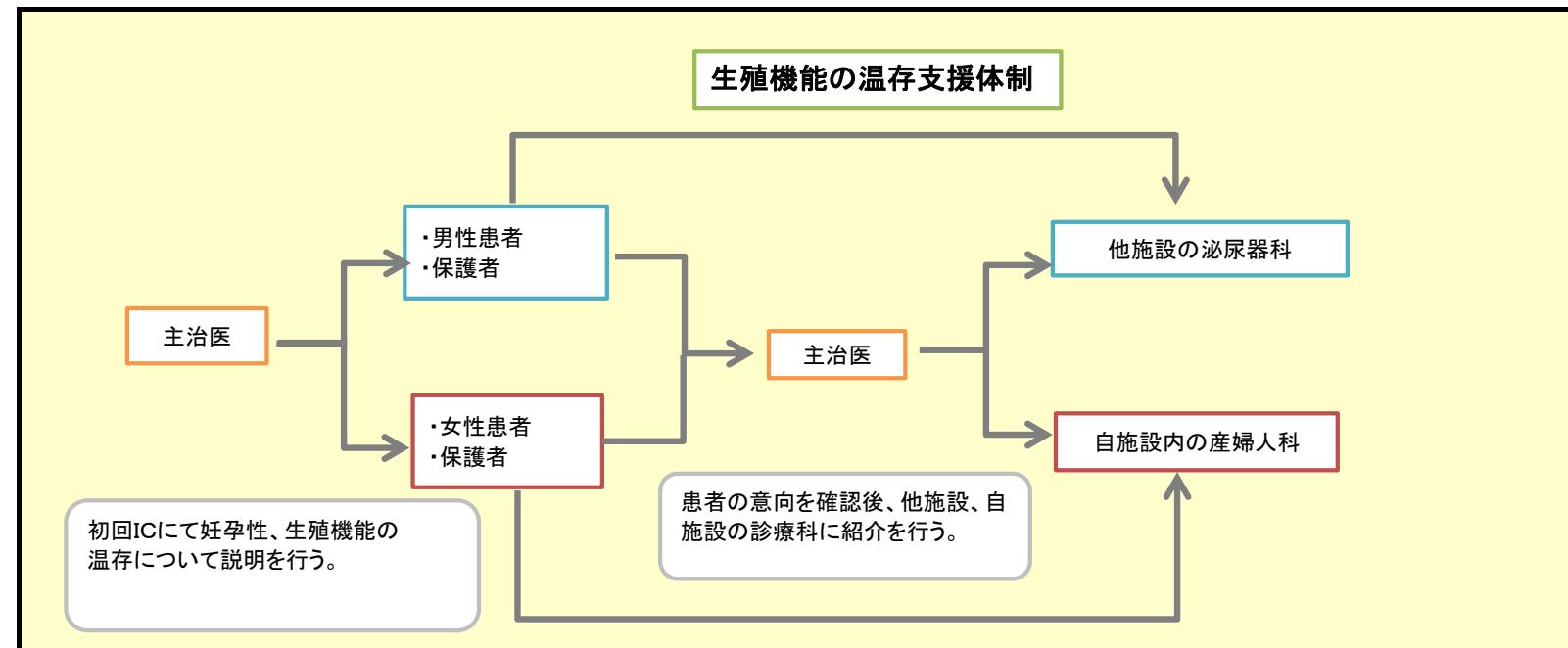
このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙5を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無  なし (あり／なし)

OK

ファイル形式  (ワード／一太郎／リッチテキスト／エクセル／パワーポイント／PDF／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。





## 薬物療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会の組織・体制

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

記載の有無

あり

病院名: 九州大学病院

開催された委員会の総件数:

12

OK

時期・期間: 平成30年1月1日～12月31日

化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会の名称、開催頻度、委員会のメンバーを記載すること。個人情報を記載しないよう注意すること。

委員会の名称	がん薬物療法レジメン審査委員会	
委員会の開催頻度	月1回	
委員会のメンバー	職種	役職
例	医師、看護師、薬剤師	腫瘍内科センター長、薬剤部長、副看護部長
1	医師	外来化学療法室長
2	医師	外来化学療法室医師
3	医師	外来化学療法室医師
4	医師	外来化学療法室医師
5	薬剤師	薬剤師
6	薬剤師	薬剤師
7	薬剤師	薬剤師
8	薬剤師	薬剤師
9	看護師	医療連携センター看護師長
10	看護師	外来化学療法室看護師

## 緩和ケアチームの組織・体制

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

緩和ケアチームの総人数:

26

OK

緩和ケアチームの名称、メンバー等を記載すること。個人情報を記載しないよう注意すること。なお、身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師(常勤であることが望ましい)、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師(常勤であることが望ましい)、緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有する常勤の看護師は指定要件に含まれることに留意して記載すること。

緩和ケアチームの名称		小児緩和ケアチーム			OK
職種		常勤／非常勤	専門分野	資格等	
例 医師、看護師、薬剤師			麻酔科、精神科、がん看護	緩和ケアに関するものを3つまで記載してください。	
1	医師	常勤	小児科	「医師に対する緩和ケア研修会」受講済	
2	医師	常勤	小児外科		
3	医師	非常勤	小児科	「緩和ケア指導者研修」受講済	
4	医師	常勤	小児歯科・スペシャルニーズ歯科		
5	医師	常勤	子どものこころの診療部		
6	医師	非常勤	子どものこころの診療部		
7	医師	非常勤	子どものこころの診療部		
8	医師	常勤	心療内科		
9	看護師	常勤	小児看護		

10 看護師

常勤

## 緩和ケアチームへの患者紹介の手順

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

緩和ケアチームへの患者紹介の手順について記載すること。必要に応じて図を用いても構いません。1枚におさめること。

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名の頭に別紙8を付けた電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

あり	(あり／なし)
PDF	(ワード／一太郎／リッチテキスト／エクセル／パワーポイント／PDF／その他)

OK

ファイル形式

その他の場合ファイル形式を記載してください。

## 緩和ケア外来の状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

1	緩和ケア外来が設定されている（はい/いいえ）							はい
2	緩和ケア外来の名称		痛みの緩和ケア外来/こころの緩和ケア外来					
3	担当診療科名		麻酔科蘇生科/心療内科					
4	主な診療内容・特色		主に当院外来通院中の患者さんとご家族を対象とし活動しており、主治医やメディカルスタッフとの連携をとり、協力しながら症状の緩和を目指します。					
5	緩和ケア外来の説明が掲載されているページ		見出し	部門紹介 緩和ケアチーム				
		アドレス	<a href="http://www.gan.med.kyushu-u.ac.jp/center/department/caringteam">http://www.gan.med.kyushu-u.ac.jp/center/department/caringteam</a>					
6	他施設でがんの診療を受けている、または、診療を受けていた患者さんを受け入れている（はい/いいえ）							はい
■地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）								はい
7	窓口の名称		がん相談支援センター					
	電話	代表	092-641-1151	(内線)	5200		直通	092-642-5200
■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）								はい
8	窓口の名称		緩和ケアセンター					
	電話	代表	092-641-1151	(内線)	5450		直通	

OK

OK

OK

## 緩和ケア病棟の状況

記載の有無  
必要はありません。 あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名：九州大学病院

時期・期間：令和元年9月1日現在

※緩和ケア病棟が設定されている場合に限り、「2」以降を記載してください。

OK

	■地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）								はい	OK						
10	窓口の名称	がん相談支援センター														
	電話	代表	092-641-1151	(内線)			直通	092-642-5200								
	問い合わせ窓口について掲載しているホームページ	見出し		アドレス	http://											
	■地域の医療機関向けの問い合わせ窓口が設定されている（はい/いいえ）								はい	OK						
11	窓口の名称	医療連携センター														
	電話	代表	092-641-1151	(内線)			直通	092-642-5200								
	問い合わせ窓口について掲載しているホームページ	見出し		アドレス	http://											
12	緩和ケア病棟の設備	例:家族用キッチン、家族室、談話室、ランドリー、デイルーム(食事や面会者との談話、ボランティアによるティーサービスがある)、特殊入浴室														
13	訪問看護ケアの有無	例:自施設で実施している、同一医療法人の施設で実施している、連携している訪問看護ケアステーションを紹介している、など														

## 地域の医療機関との連携協力体制

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名：九州大学病院

時期・期間：令和元年9月1日現在

地域の医療機関との連携協力体制について自施設の取り組みや今後の予定を記載すること。(例:診療実績の少ない●●については××病院と協力。●●治療については××病院へ紹介。小児がん患者の在宅医療については●●診療所と連携し、急変時には受け入れることとしている。成人領域については××病院と協力し定期的に情報共有を図っている。)2枚におさめること。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙11を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

なし

(あり／なし)

OK

ファイル形式

(ワード／一太郎／リッチテキスト／エクセル／パワーポイント／PDF／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

### (1) 小児がん診療病院との役割分担について

本年度も引き続き小児がんに対する最適な治療の提供や、九州・沖縄地域における小児がん診療病院からの相談、小児がんに携わるスタッフの養成するための研修を実施していく。

### (2) 患者を受け入れる主な地域／自施設では十分に対応できない疾患及び病態への対応について

九州・沖縄地域における各県の小児がん診療病院と連携し、患者を受け入れる体制として九州・沖縄地域小児がん医療提供体制を整備し、本院の小児医療センターを中心として、九州・沖縄地域の医療機関と連携し患者受け入れを行っている。また、中国地区の小児がん拠点病院である広島大学病院および隣県の山口県の医療機関と連携し患者受け入れを行っている。

本院では対応できず、他の地域における小児がん拠点病院に治療を依頼しなければならない場合は、速やかに相談・依頼する。

### (3) テレビ会議システムを活用した情報共有

九州・沖縄地域小児がん医療提供体制協議会に属する19施設と、隣接するブロック(中国・四国ブロック)の小児がん拠点病院である広島大学病院を加えた合計20施設を接続するテレビ会議システムを整備し、毎月第4月曜日(16:00～17:00)にテレビ会議を開催している。

会議では症例検討や研修カンファレンス、毎回小児がんに関するテーマを1つ決めて行う討論会や、治験や臨床研究の紹介、小児がん中央機関で行われた会議の報告などをしている。平成30年度より小児がん看護においてもテレビ会議を開催し、小児がん看護に係るカンファレンスを実施している。

### (4) 相談支援の体制について

小児がん相談支援センターを設けており、小児がん中央機関による研修を修了した看護師1名、チャイルド・ライフ・スペシャリスト1名、子ども療養支援士1名を小児がん相談員として配置し、院内外からの相談に対し、相談者の状況に応じて対応している。

### (5) がん診療連携拠点病院、がん診療拠点病院との連携について

当院はがん診療連携拠点病院の指定を受けており、成人領域に係る事項は、定期開催のワーキング、部会で情報共有の上対応している。また、患者の生活環境に応じて地域のがん診療拠点病院と情報共有、連携を行っている。



**小児がんに対して、手術、放射線療法または化学療法に携わる専門的な知識  
および技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制**

記載の有無	あり
※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。	
病院名:	九州大学病院
時期・期間:	令和元年9月1日現在(実績は平成30年1月1日～12月31日)

■病院のホームページで「セカンドオピニオン」の説明が掲載されているページの内容

ホームページ	見出し	セカンドオピニオン外来	アドレス	<a href="https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/gairai/second/">https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/gairai/second/</a>		
問い合わせ先の電話など	対応可能な疾患名	対応した患者数(実績)	担当する医師の情報			保険診療、または保険外診療である旨
掲載あり	掲載あり	掲載なし	掲載なし	掲載なし	掲載なし	掲載あり

疾患ごとに、セカンドオピニオンを担当する医師に関する情報を5名まで記載してください。

※対応状況で「対応不可」を選択した場合は、「セカンドオピニオンを担当している医師」に関する表への記載は不要です。

✓チェック欄に未入力なし

**小児脳腫瘍**

<input type="radio"/> ※別紙2を反映 ○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん	対応状況 (対応可／対応不可)	対応可	昨年の実績 ※平成30年1月1日～12月31日まで	1	件	OK
セカンドオピニオンを担当している医師						
所属している診療科	当該疾患に対する専門性 (専門:○/専門外:×)	手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください	
1人目 脳神経外科	○	○	○	×		
2人目 脳神経外科	○	○	○	×		
3人目 脳神経外科	○	○	○	×		
4人目 小児科	○	×	○	×		
5人目						

**小児の眼・眼窩腫瘍**

<input type="radio"/> ※別紙2を反映 ○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん	対応状況 (対応可／対応不可)	対応可	昨年の実績 ※平成30年1月1日～12月31日まで	0	件	OK
セカンドオピニオンを担当している医師						
所属している診療科	当該疾患に対する専門性 (専門:○/専門外:×)	手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください	
1人目 小児科	○	×	○	×		
2人目 小児科	○	×	○	×		
3人目 眼科	○	○	×	×		
4人目 眼科	○	○	×	×		
5人目						

## 小児悪性骨軟部腫瘍

<input type="radio"/>	※別紙2を反映 ○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん	対応状況 (対応可／対応不可)	対応可	昨年の実績 ※平成30年1月1日～12月31日まで	1	件
-----------------------	--	--------------------	-----	------------------------------	---	---

OK

セカンドオピニオンを担当している医師	所属している診療科	当該疾患に対する専門性 (専門:○/専門外:×)	当該疾患の専門分野(専門:○/専門外:×)			
			手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください
1人目	小児科	○	×	○	×	
2人目	耳鼻咽喉科	○	○	×	×	
3人目	整形外科	○	○	×	×	
4人目	小児外科	○	○	×	×	
5人目	放射線科	○	×	×	○	

## その他の小児固形腫瘍

<input type="radio"/>	※別紙2を反映 ○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん	対応状況 (対応可／対応不可)	対応可	昨年の実績 ※平成30年1月1日～12月31日まで	2	件
-----------------------	--	--------------------	-----	------------------------------	---	---

OK

セカンドオピニオンを担当している医師	所属している診療科	当該疾患に対する専門性 (専門:○/専門外:×)	当該疾患の専門分野(専門:○/専門外:×)			
			手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください
1人目	小児科	○	×	○	×	
2人目	耳鼻咽喉科	○	○	×	×	
3人目	脳神経外科	○	○	×	×	
4人目	小児外科	○	○	×	×	
5人目	放射線科	○	×	×	○	

## 小児血液腫瘍

<input type="radio"/>	※別紙2を反映 ○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん	対応状況 (対応可／対応不可)	対応可	昨年の実績 ※平成30年1月1日～12月31日まで	2	件
-----------------------	--	--------------------	-----	------------------------------	---	---

OK

セカンドオピニオンを担当している医師	所属している診療科	当該疾患に対する専門性 (専門:○/専門外:×)	当該疾患の専門分野(専門:○/専門外:×)			
			手術	化学療法	放射線療法	その他※具体的に記載してください
1人目	小児科	○	×	×	×	
2人目	小児科	○	×	×	×	
3人目	放射線科	×	×	×	○	
4人目	放射線科	×	×	×	○	
5人目						

## 小児がん患者およびその家族が語り合うための場の設定状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

小児がん患者の遊びの場(プレイルーム等)やAYA世代の交流・勉強の場、患者家族が語り合うための場(患者サロン等)について記載すること。さらにおもちゃ・図書・パソコン・運動設備等の有無、保育士等の配置などについても記載すること。必要に応じて写真を貼付することも可。2枚以内におさめること。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙13を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

あり (あり／なし)

OK

ファイル形式

PDF (ワード／一太郎／リッチテキスト／エクセル／パワーポイント／PDF／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。



## 小児がん患者およびその家族が語り合うための場

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名 : 九州大学病院

時期・期間 : 令和元年9月1日現在

語り合うための場総件数 :

6

OK

1. 小児がん患者およびその家族が語り合うための場を記載してください。

	名称	主催者名	病院職員の関与	活動状況		参加対象者			主な活動内容	参加対象者向けの院内の問い合わせ窓口(窓口の名称・電話番号)
				定期/不定期	頻度(回)	病名	院外からの参加(参加可/参加不可)	患者のみ/家族のみ/患者・家族		
例	○○○会	○○○会	なし	定期	週 1	小児がん	参加可	患者・家族	小児がん患者の親の交流会を開催している。	相談支援センター XXX-XXXX-XXXX直通
1	公益財団法人 がんの子どもを守る会		あり	定期	月 1	小児がん	参加可	患者・家族	相談会、交流会、経験者の会、子どもを亡くした親の会、毎月の定例会、九州支部連絡会、日韓国際交流	名称 電話
2	ぶどうの会	才藤 千津子	あり	定期	月 1	小児がん	参加可	患者・家族	付き添い家族のこころのストレスを和らげるための相談会	名称 電話
3	小児医療センターボランティア ゆめりんご	飼手 千秋	あり	定期	月 1	小児がん、その他	参加可	患者・家族	ゆめりんごカフェ: 第2水曜日14:00~15:30 付き添い家族へ手作りケーキやコーヒーを提供。その間子ども達には「映写会」を開催	患者サービス課・飼手 千秋 092-642-6272
4	小児医療センターボランティア すまいる	内藤 真澄	あり	定期	月 1	小児がん、その他	参加可	患者・家族	付き添い家族を対象にグループカウンセリングを開催。	患者サービス課・内藤 真澄 092-642-6272
5	ひつじのわ	福岡子どもホスピスプロジェクト	あり	不定期		小児がん、その他	参加可	患者・家族	ご家族の体験に学び、語り合い、交流することを目的としたカフェセミナー。	名称 電話
6	にこスマキャンプ	NPO法人にこスマ九州	あり	定期	年 2	小児がん(又はそれに準ずる病気)	参加可	患者・家族	自然の中での活動や、同じ経験を分かち合う仲間との友達作りを目的とした交流キャンプ。	名称 電話
7										名称 電話
8										名称 電話
9										名称 電話
10										名称 電話

2. 患者および家族向けの図書室の設置状況を記載してください。

※院内の相談支援センターなどの図書室について記載してください。院内図書室以外は3ページ目に記載してください。

1 患者および家族向けの図書室の設置	設置あり	※「設置あり」の場合に限り、以下を記載してください。				
2 図書室の名称	愛の図書室					
3 図書室の説明が掲載されているページの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し	九州大学病院 ボランティア委員会				
	アドレス	<a href="http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/volunteer/katsudou/index06.html">http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/volunteer/katsudou/index06.html</a>				
4 利用者の制限 ※選択肢に含まれていない場合はその他の欄に記載	その他	患者さん及び付き添い家族				
5 医療系の資料  冊数または種類の数  貸し出しの制限	図 書		雑誌		医療系のビデオ・DVD	医療系の冊子
	医学専門書	一般向け医療系図書	医学専門雑誌	一般向け医療系雑誌		
	0	50冊未満	0	10種類未満	0	0
	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし
6 利用可能な機器	インターネット接続可能なパソコン		プリンター		コピー機	
	設置なし		設置なし		設置なし	
7 問い合わせ先電話番号 ※電話番号は半角英数で「-」を用いて記載 ※内線は、設置されている場合のみ記載	代表	092-641-1151		(内線)	6272	
	直通1	092-642-6272		直通2		
8 対応職員の職種等・人数	(例)看護師		1 人	ボランティア		2 人
	ボランティア		5 人			人
			人			人
9 ピアソポーターによる対応(実施/未実施)	未実施					

OK

OK

3. 院内の相談支援センターなどの図書室以外の場所に図書等が設置されている場合を記載してください。

1	院内図書室以外の場所に図書等の設置	設置あり	※「設置あり」の場合に限り、以下を記載してください。				
2	図書等が設置されている場の名称	北棟小児病棟6階 プレイルーム					
3	図書室の説明が掲載されているページの見出しとアドレス ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し	小児医療センター(集学的診療単位)				
		アドレス	http://				
4	利用者の制限 ※選択肢に含まれていない場合は他の欄に記載	その他	患者さん及び付き添い家族				
5	医療系の資料 冊数または種類の数	図書		雑誌		医療系のビデオ・DVD	医療系の冊子
		医学専門書	一般向け 医療系図書	医学専門 雑誌	一般向け 医療系雑誌		
	0	50冊未満	0	10種類未満	0	0	
6	利用可能な機器	貸し出しの制限 制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし
		インターネット接続可能なパソコン 設置なし	プリンター		コピー機		
7	問い合わせ先電話番号 ※電話番号は半角英数で「-」を用いて記載 ※内線は、設置されている場合のみ記載	代表	092-641-1151		(内線)	6272	
8	対応職員の職種等・人数	直通1	092-642-6272		直通2		
9	ピアソポーターによる対応(実施/未実施)	未実施					

OK

OK

## 診療実績等

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

記載の有無

あり

病院名 : 九州大学病院

	年間新規症例数(※) (平成30年1月1日～12月31日)		年間新規症例数(※) (平成30年1月1日～12月31日)
造血器腫瘍合計	38	固体腫瘍合計	42
ALL	7	神経芽腫瘍群	1
AML	14	網膜芽腫	3
まれな白血病	1	腎腫瘍	1
MDS／MPDのうちCML	1	肝腫瘍	1
MDS／MPDのうちCMLを除く	5	骨腫瘍	5
Non-Hodgkin Lymphoma	7	軟部腫瘍	5
Hodgkin Lymphoma	0	胚細胞腫瘍	2
その他のリンパ増殖性疾患	0	脳・脊髄腫瘍	17
組織球症(HLH)	0	その他(診断名も記載すること)	5 (原発不明癌、舌癌、悪性黒色腫、皮膚癌、甲状腺癌)
組織球症(LCH)	0		
その他の組織球症	0		
その他の造血器腫瘍	0		
Down症TAM 登録	3		

OK

※18歳以下の初回治療例とする。セカンドオピニオンは除く。

## 小児がんに関する研修プログラムの状況

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

記載の有無

あり

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在(研修会等の回数は平成30年1月1日~12月31日)

### ■研修会等の回数について記載すること

小児がんの診療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関する研修会等の回数(平成30年1月1日~12月31日)	8
うち小児がんの診療に関する研修会等の回数(平成30年1月1日~12月31日)	6
うち小児がんの相談支援に関する研修会等の回数(平成30年1月1日~12月31日)	0
うち小児がんのがん登録に関する研修会等の回数(平成30年1月1日~12月31日)	0
うち小児がんの臨床試験に関する研修会等の回数(平成30年1月1日~12月31日)	2
うち小児がんに関するその他の研修会等の回数(平成30年1月1日~12月31日)	0

OK

### ■研修プログラムについて記載すること

プログラムの総件数:

5

OK

プログラム名	期間	対象者	H30 年度 (人)	R1 年度 (人)	H26年度以 降のプログ ラム修了者 (人)	H26年度以降プログラム修了者の 現在の勤務先					プログラムの特徴	
						例 2年	例 医師卒後 ○年～○年	自施設 (人)	自施設以外			
1 小児がん診療病棟実習(初期)	1か月 ～2か月	1～2	3	3	21	2	0	4	11	4	初期研修医が対象 診察・基本手技を習得	
2 小児がん診療病棟実習	3か月 ～6か月	3～6	11	12	61	14	6	4	20	17	後期研修医が対象 病棟主治医として診断～治療方針決定、病状説明などすべてに関わる	
3 小児がん診療専門病棟実習	1年	6～7	5	3	12	3	2	0	3	4	小児がん患者・家族に対する病状説明など 責任を持って自ら行えるようになる	
4 小児がん診療専門外来実習	1年	6～9	3	3	10	3	2	0	3	2	小児がん外来化学療法および長期フォロー アップを学ぶ	

5	KPI	3	3~5	33	38	69	12	0	4	16	37	小児科専門医研修の中の、小児がん専門研修
---	-----	---	-----	----	----	----	----	---	---	----	----	----------------------

## 相談支援センターの体制

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

相談支援センターの名称、体制、メンバーについて記載すること。個人情報を記載しないよう注意すること。

相談支援センターの名称		小児がん相談支援センター							OK
相談支援センターのメンバー									
職種	常勤／非常勤	専従／専任／兼任	相談業務の経験年数(年)	相談員基礎研修会の受講状況			中央機関による研修		
				基礎研修会 (1)	基礎研修会 (2)	基礎研修会 (3)			
1 看護師	常勤	専従(8割以上)	13	受講	受講	受講	受講		
2 子ども療養支援士	常勤	専従(8割以上)	4	受講	受講	受講	受講		
3 チャイルドライフスペシャリスト	常勤	専従(8割以上)	2	受講	受講	受講	受講		
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									

●年間の相談総件数(平成30年1月1日～12月31日)	1,071	件	OK
上記1件あたりの平均対応時間	平均	22.2	分

相談件数(令和元年6月1日～7月31日)		対面相談	電話相談	FAX相談	E-mail相談	計
1 自施設の患者・家族		57	13	0	0	70
2 他施設の患者・家族		0	11	0	0	11
合計		57	24	0	0	81

## 相談支援内容

※相談支援センターで最も力を注いでいる相談支援の内容について下記に5つあげてください。国立がん研究センターのサイト「がん情報サービス」の相談支援センターの紹介欄で掲載する予定です。

例	相談支援の対象者
がんの診療を行っている医療機関の紹介(70施設を対象に調査を行い、その資料をもとに医療機関の情報を提供しています。)	他施設の患者・家族
1 治療中から退院後の生活に関する心理・社会的支援	自施設の患者・家族
2 就学・復学、就労支援	自施設の患者・家族
3 きょうだいを含めた家族支援	自施設の患者・家族
4 がんの治療・検査等における情報提供	自施設と他施設の患者・家族
5 社会資源、医療費、在宅療養等に関する情報提供・利用支援	自施設の患者・家族

OK

## 相談支援センターの状況

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

記載の有無

あり

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

相談支援センターの相談員など、相談支援センターの雰囲気が伝わる画像を貼付してください。  
この画像は、国立がん研究センターのサイト「がん情報サービス」の相談支援センターの紹介欄に掲載いたします。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙18を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

なし (あり／なし)

OK

ファイル形式

(ワード／一太郎／リッチテキスト／エクセル／パワーポイント／PDF／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

**【必須】**相談支援センターページの基本情報で掲載する画像を**「1枚」、上記の別添資料の有無に関わらず**提出してください。

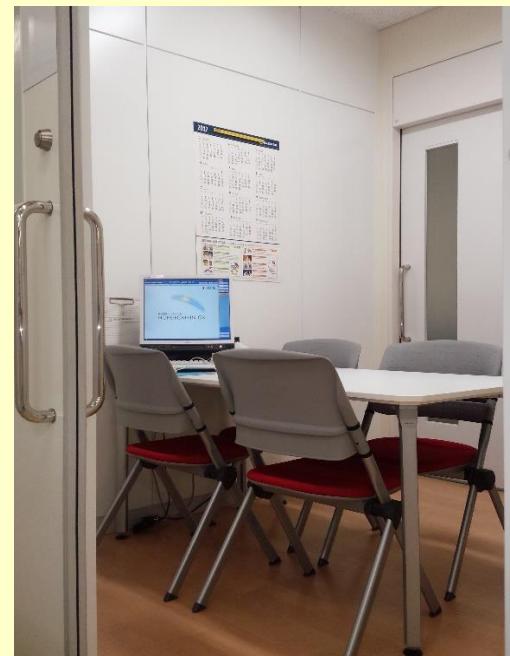
※横長の写真の方が收まりがよいです。

※上記の別添資料と同じ画像でも構いませんが、写真ファイル名を**「別紙18相談支援センター画像」**として別に添付してください。

ファイル形式

JPEG (PNG／JPEG／GIF／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。





#### 相談支援センターの問い合わせ窓口

### 記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名：九州大学病院

時期・期間：令和元年9月1日現在

1	相談支援センターの名称	小児がん相談支援センター					
2	問い合わせ先電話番号 ※電話番号は半角英数で「-」を用いて記載 ※内線は、設置されている場合のみ記載	代表	092-641-1151		(内線)	5200	
	直通1	092-642-5200					
	直通2						
	直通3						
3	対面相談の実施（実施/未実施）	実施					
	予約の要否（必要/不要）	必要					
	電話相談の実施（実施/未実施）	実施					
	相談用の電話番号	代表	092-641-1151		(内線)	5200	
4	直通1	092-642-5200		直通2			
	直通1						
	予約の要否（必要/不要）	不要					
	FAX相談の実施（実施/未実施）	未実施					
5	相談用のFAX番号 ※半角英数で記載 ※代表番号は、直通番号がない場合のみ記載	直通1			直通2		
	直通1						
	代表						
	電子メール相談の実施（実施/未実施）	実施					
6	相談用の電子メールアドレス ※半角英数で記載 ※個人のメールアドレスは記載しないでください	1	childcsoudan@med.kyushu-u.ac.jp				
	1						
	2						
	相談員の職種・人数 ※選択肢に含まれていない職種の場合は、その他の欄に直接記載	(例)精神保健福祉士		2人	ソーシャルワーカー(上記以外)		1人
	看護師	1人				人	
	医療心理に携わる者	2人				人	
		人				人	
		人	その他			人	
		人	その他			人	
ピアソポーターによる対応（実施/未実施）	未実施						
具体的な活動内容							
地域の患者会の情報提供の有無	あり						
提供可能な患者会の数	5						

7

上記患者会の参加対象者の疾患名

※特定の疾患の患者さんや家族を対象とした患者会が含まれている場合のみ記載  
(例:乳がん、血液腫瘍、子どものがん、女性のがんなど)

## 小児がん患者団体との連携

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 平成30年1月1日～12月31日

団体総件数: 4

OK

小児がん患者団体との連携(患者の交流会、勉強会、相談支援、講演会等)があれば記載すること。

小児がん患者団体		具体的な連携の内容 (例:月1回患者交流会を開催している。市民講演会に演者として参加してもらっている。)
団体名	団体の参加対象者	
1 公益財団法人 がんの子どもを守る会	患者、ご家族、小児がん支援者 医療者(医師、看護師、薬剤師、 心理士、CLS)、教諭(中学、小学、保育)	年2回程度、小児がんについての勉強会を開催し、勉強会の終了後には個別相談会を実施。
2 公益財団法人 がんの子どもを守る会(九州北支 部)	患者、患者家族	不定期に患者交流会を開催している。
3 NPO法人 にこスマ九州	小児がん患者、小児がん経験者	小児がん経験者のキャンプ、医師はボランティアスタッフとして参加。春、夏の2回。
4 九大病院小児医療センター親の 会「すまいる」	小児医療センターに入院中の患 者家族等	毎月第2月曜日14時～16時に病棟プレイルームにてグループカウンセリングを開催。 終了後は毎回、医師や小児がん相談員が振り返りに参加し、情報共有を行っている。
5		
6		
7		
8		
9		



## 地域住民へのメッセージ

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名 : 九州大学病院

※本別紙は、国立がん研究センターのサイト「がん情報サービス」のがん診療連携拠点病院のページに掲載することを目的としています。

※各項目200字以内で記載してください。

1	小児がん拠点病院としてのメッセージ
	(例)当院は、すべてのがん患者さんの治療方針の決定を外科、腫瘍内科、放射線治療等複数の領域の専門家による「キャンサーボード」によって十分に検討し、最善の治療を行うよう努めています。
2	当院は化学療法、手術療法、放射線療法などの集学的医療を提供できる充実した設備と人材で小児がん診療を行っており、小児科、小児外科を中心とする関連各科や多職種が連携し、患者さんに最適な医療を提供しています。また、免疫療法や分子標的療法などの新規治療法導入や治験参加も積極的に推進しています。さらに、患者さんやご家族のQOL向上や心理社会的サポートへの対応も院内関係各部署が連携して実施しています。
	相談支援センターからのメッセージ
3	(例)医療ソーシャルワーカーが皆様のお話を伺い、一緒に考え、課題解決のお手伝いをさせていただきます。また、お話を伺いし、専門の看護師やスタッフをご紹介させていただきます。
	小児がん相談員が窓口となり、院内外からの小児がんに関するご相談に応じます。 小児がんのお子さんだけではなく、ごきょうだいを含めたご家族の困りごと、医療従事者からのご相談もお受けしています。 患者さんとご家族に寄り添いながら一緒に考え、必要に応じて多職種と連携をとって、問題解決へのお手伝いをさせていただきます。
4	緩和ケアチームからのメッセージ
	(例)緩和ケアチームには、長年緩和医療に携わっている経験を積んだ医師、看護師、薬剤師が含まれ、身体的な痛みを始め、患者さんの精神的苦痛を和らげるため、担当医と連携し、最善の医療を提供します。
4	当院の小児緩和ケアチームは、多職種のスタッフが連携して、重篤な病気や障害を抱える子どもたちが、家族や社会の中で少しでも心地よく暮らせるように、また豊かな時間が過ごせるように、一人一人の身体的・精神的苦痛の緩和に努め、希望に寄り添いながらサポートいたします。
	緩和ケア病棟からのメッセージ(※緩和ケア病棟が設置されている場合のみ記載してください。)
4	(例)緩和ケア病棟は、別棟となっており、全室から中庭に出ることが可能で、豊かな自然を感じて、充実した時間を過ごすことができます。

## 臨床研究を支援する専門の各部門のメンバー

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

記載の有無

あり

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

各部門のメンバー(個人情報を記載しないよう注意すること)

メンバー総人数: 123

OK

各部門名		各部門のメンバーの専門性・職種
例	事務部門、データセンター部門、コーディネーター部門、治験管理室	
1	臨床研究支援室 (レギュラトリサイエンス担当、安全性情報管理担当、CRC担当、薬品等管理担当、メディカルライティング担当、臨床研究支援担当(医師))	
2	臨床研究推進室 (開発企画担当、薬事管理担当、プロジェクト管理担当、広報担当、推進管理担当)	
3	臨床研究基盤室 (生体情報解析担当、分子細胞調整担当、安全性検証担当)	
4	データセンター (生物統計担当、データマネジメント担当、IT担当)	
5	教育研修担当	
6	モニタリング担当	
7	監査担当	
8	倫理担当	
9	ARO非臨床・連携推進部門 (シーズ担当、非臨床POC担当、国際連携担当、知的財産担当、コーディネート担当、产学連携担当)	

10

事務管理室  
(治験事務担当、事務担当(研究支援課))

研究支援担当、事務担当、事務補助担当

## 臨床研究の問い合わせ窓口

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

### 【臨床試験(治験を除く)】の問い合わせ窓口

<b>■臨床試験(治験を除く)に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口の有無について</b>		臨床試験(治験を除く)専用の窓口がある			
※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。					
窓口の名称		ARO次世代医療センター患者さま窓口(外来診療棟 1階)			
1 上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し	九州大学ARO次世代医療センター 「一般の方へ」			
	アドレス	<a href="http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/ippan/pamph.html">http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/ippan/pamph.html</a>			
電話	代表	092-641-1151	(内線)	5858	
	直通	092-642-5858			

OK

<b>■臨床試験(治験を除く)に参加していない地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について</b>		臨床試験(治験を除く)専用の窓口がある			
※臨床試験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。					
窓口の名称		ARO次世代医療センター患者さま窓口(外来診療棟 1階)			
2 上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し	九州大学ARO次世代医療センター 「一般の方へ」			
	アドレス	<a href="http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/ippan/pamph.html">http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/ippan/pamph.html</a>			
電話	代表	092-641-1151	(内線)	5858	
	直通	092-642-5858			

OK

【臨床試験以外の小児がんに関する臨床研究(特にトランスレーショナルリサーチ)】の問い合わせ窓口					
■臨床試験以外の小児がんに関する臨床研究に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口の有無について			臨床試験以外の小児がんに関する臨床研究専用の窓口がある		
※臨床研究専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。					
1	窓口の名称		ARO次世代医療センター患者さま窓口(外来診療棟1階)		
	上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し	九州大学ARO次世代医療センター 「一般の方へ」		
		アドレス	<a href="http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/ippan/rinsyoukenkyu.html">http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/ippan/rinsyoukenkyu.html</a>		
	電話	代表	092-641-1151	(内線)	5858
直通		092-642-5858			
■臨床試験以外の小児がんに関する臨床研究に参加していない地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について			臨床試験以外の小児がんに関する臨床研究専用の窓口がある		
※臨床研究専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。					
2	窓口の名称		ARO次世代医療センター患者さま窓口(外来診療棟1階)		
	上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し	九州大学ARO次世代医療センター 「一般の方へ」		
		アドレス	<a href="http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/ippan/rinsyoukenkyu.html">http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/ippan/rinsyoukenkyu.html</a>		
	電話	代表	092-641-1151	(内線)	5858
直通		092-642-5858			

【治験】の問い合わせ窓口					
■治験に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口について			治験専用の窓口がある		
※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。					
1	窓口の名称		ARO次世代医療センター患者様窓口(外来診療棟 1階)		
	上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し	九州大学ARO次世代医療センター 「一般の方へ」		
		アドレス	<a href="http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/ippan/pamph.html">http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/ippan/pamph.html</a>		
	電話	代表	092-641-1151	(内線)	5858
直通		092-642-5858			
■治験に参加しない地域の医療機関向けの問い合わせ窓口について			治験専用の窓口がある		
※治験専用の窓がある場合に限り、以下の表に記載してください。					
2	窓口の名称		ARO次世代医療センター患者様窓口(外来診療棟 1階)		
	上記の窓口の説明が掲載されているページ ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	見出し	九州大学ARO次世代医療センター		
		アドレス	<a href="http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/index.html">http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/index.html</a>		
	電話	代表	092-641-1151	(内線)	5858
直通		092-642-5858			

OK

OK

OK

OK

## 教育支援、復園・復学支援の状況

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

教育支援、復園・復学支援の状況について記載すること。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙24を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

あり

(あり／なし)

ファイル形式

(ワード／一太郎／リッチテキスト／エクセル／パワーポイント／PDF／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

OK

## 長期滞在施設またはこれに準じる施設

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

病院からの距離、施設内の設備(調理スペース、ランドリー、プレイルーム等)、人の配置等について記載すること。必要に応じて写真を貼付することも可。1枚におさめること。

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙25を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

あり
(あり／なし)

ファイル形式

(ワード／一太郎／リッチテキスト／エクセル／パワーポイント／PDF／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

--



OK



## 医療安全体制

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

記載の有無

あり

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

- 医療に係る安全管理を行う部門の名称、メンバーについて記載すること。個人情報を記載しないよう注意すること。

医療に係る安全管理を行う部門の名称		医療安全管理部			OK
医療に係る安全管理を行う部門のメンバー					
	職種	常勤／非常勤	専従／専任／兼任	人数	うち、医療安全対策に係る研修を受講した者的人数
1 医師		常勤	専従	1	0
			専任	0	0
			兼任	13	0
		非常勤	専従	0	0
			専任	0	0
			兼任	0	0
2 薬剤師		常勤	専従	1	1
			専任	0	0
			兼任	1	0
		非常勤	専従	0	0
			専任	0	0
			兼任	0	0
3 看護師		常勤	専従	3	3
			専任	0	0
			兼任	5	0
		非常勤	専従	0	0
			専任	0	0
			兼任	0	0

4	臨床検査技師	常勤	兼任(5割未満)	1	0
5	放射線技師	常勤	兼任(5割未満)	1	0
6	臨床工学技士	常勤	兼任(5割未満)	1	0
7	診療情報管理士	常勤	兼任(5割未満)	1	0
8	事務職員	常勤	兼任(5割未満)	1	0
9	大学院医学研究院教員	常勤	兼任(5割未満)	1	0
10	大学院工学研究院教員	常勤	兼任(5割未満)	1	0

●医療安全のための患者窓口

窓口の名称		患者相談支援室				OK
電話	直通	092-642-5512				
	代表	092-641-1151	(内線)			

## PDCAサイクルについて

記載の有無

あり

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: 九州大学病院

時期・期間: 令和元年9月1日現在

■自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制について、地域に対して行っている情報提供を記載してください。

①院内の見やすい場所に掲示している

いいえ (はい／いいえ)

OK

②院内誌、チラシ等で広報している

いいえ (はい／いいえ)

OK

③ホームページに掲載している

はい (はい／いいえ)

OK

④ホームページに掲載している場合、該当するページのアドレスを記載してください

<http://childcenter.med.kyushu-u.ac.jp>

⑤地域の広報誌等で広報している

いいえ (はい／いいえ)

OK

⑥その他の方法で掲載している

いいえ (はい／いいえ)

OK

⑦その他の方法がある場合、内容を記載してください

■自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制について、必要に応じて図表などを活用し、具体的に記載すること。

PDCAを使って改善することを想定している課題(いくつでも可)

課題の内容		目標	目標達成の検証方法(データ源)
例)	患者満足度の向上	退院患者の80%が入院治療環境に満足する	3ヶ月おきに日を設定して患者アンケートを行う。
1	小児がん医療の質の向上	九州・沖縄地域における小児がん医療従事者の育成	ブロック内各県にて小児がん拠点病院主催の研修会等を行い、アンケートを行う。
2			
3			
4			
5			

上記の目標に向けた活動計画の予定(未定の場合には、未定と記入)

1	今年度より各県持ち回りで協議会を開催し、開催県の小児がん医療について実情を把握し、適切な指導、支援を行う。 <small>※2019年は沖縄県</small>
2	協議会開催県にて小児がん医療従事者向け研修会および市民公開講座を開催し、小児がん医療従事者の育成支援および小児がんに関する啓蒙活動を行う。

3	
4	
5	

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙26を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無

あり

(あり／なし)

OK

ファイル形式

(ワード／一太郎／リッチテキスト／エクセル／パワーポイント／PDF／その他)

その他の場合ファイル形式を記載してください。

